地域でつくる子どもたちの居場所づくり

のびのびだより No.10

～柏小のびのびルーム「お行儀教室」～
11 月 13 日(水)15:30～16:30　@柏小内教室

日本のさまざまな伝統文化や礼儀作法について、体験を通して広く学べる柏小のびのびルームの「お行儀教室」。今回は「茶の湯体験」と「日舞体験」が行われると聞き、見学に伺いました。

この日は高学年の児童が対象で、参加者は 2 部屋に分かれ、一方は茶の湯体験から、もう一方は日舞体験からスタートです。茶の湯体験チームは、まず茶道具の名前や扱い方を習います。知識を学んだ後は実践へ。茶せんを使ってしゃかしゃかとお茶をたてます。一つひとつの動きが初めてで、抹茶碗を持つ手にも力が入っているのが見て取れました。

日舞体験チームは、羽織をはおり、舞扇(まいおうぎ)を持ち、「さくらさくら」のお箏の音色に合わせて踊ります。1 回踊るごとに「いいね！」「きれいになってきたよ！」とほめてもらえるので、一気に上達した気分になります。

後半は、チームを入れ替えて実施。着物を召したお師匠 5 名と更生保護女性会の皆さんのチームワークで、今回も子どもたちにとって、貴重な体験の場となっていました。

作成：放課後こども教室推進事業運営委員会　事務局(教育部　社会教育課　川畑)
※各教室の取り組みを市内全域で共有し、本事業の活性化を図ることを目的として、見学の記録を作成し、送信しております。